

和・漢・洋 「ことわざ辞典」

(1) 相手の境遇次第で親しくなったり冷たくなったり、態度を豹変させる人もいれば、相手がどんな状況に陥っても、変わらぬ態度で接する人もいます。人の品性は、そんなところにも表れるものです。

【ことわざの例】

- ・日本／「逆境の友は真の友」(不遇な境遇のときになお友情を示す友は、ほんとうの友人である)
- ・中国／「富貴には人集まり、貧賤には親戚も離れる」(財産もあって

高い身分にあるときには、人は集まってくるが、落ちぶれると親戚さえも近づいてこない)

- ・西洋／「Prosperity makes friends and adversity tries them.」(成功は友をつくり、逆境は彼らを試す)
- (2) 過去のあやまちを蒸し返して咎めたり、かつての不満を再燃させたり、



そんなことをしても何のプラスにもなりません。寛容な気持ちを忘れず前向きに過ごしたほうが、より幸せになれるそうです。

【ことわざの例】

- ・日本／「旧態を念わず」(人の過去の失敗をいつまでも考えるのではなく、その長所を見るようにする方がよい)
- ・中国／「既往を咎めず」(過去のあやまちは問わないものだ)
- ・西洋／「Do not rake up old grievance.」(過去の不平・不満は、ほじくり出すな)

(注：本欄でご紹介することわざには、他にも類するものがある場合があります。また、日本のことわざには中国の故事に由来するものもあります)

仏事の豆知識

仏教と食

私たちは、食事の前に「いただきます」と手を合わせ、食事を終える「ごちそうさま」と、また手を合わせます。その行為には、食べものをもたらしてくれた万物への、感謝の気持ちがこめられているはずです。なぜなら、私たちは「食べること」によって命をいただき、毎日を生きているからです。

道元禪師は『典座教訓』(典座は、禅寺の修行僧に与えられる役目の一つで、食事に関わる一切を司ります)において、調理という極めて日常的な営みの中にこそ、仏道の真の在りようを見いだすことができるとし、典座の修行がいかに重要かを説いています。

古来、私たち日本人は食材の旬を大切に、素材の持ち味を生かし、自然の恵みを有難く無駄なく頂戴するという「食の知恵」を育んできました。このことは取りも直さず、仏教の教えにも通じるもので、心をこめて食事を

つくり、感謝の心とともにその食事をいただく、そんな日々の暮らしこそを大切にしたいものです。



生活の中の仏教語

正念場

叱咤激励するために「今が人生の正念場なのだから、弱音を吐かずに頑張りなさい！」などと言ったりします。この「正念場」は、まさにここぞという重要な場面や局面をいいます。もともと「正念場」は、歌舞伎や浄瑠璃の世界で、役者がその役の真髄

(性根)を発揮する最も重要な場面を指す「性根場」から転じた言葉だといわれます。



また、「正念」という漢字を用いるようになった理由は、役者が一心に打ち込んで邪念を払った「性根場」の空気が、仏教修行の基礎となる8種の実践徳目「八正道」の中の「正念」(=邪念を離れ、一心に仏道を念じること)に通じることから、「性根場」が「正念場」となり、一般にも使われるようになったということです。

このように、仏教の意味合いがこめられた「正念場」は、俗世間でもとても重要な場面を指す言葉となったのです。

くらしに役立つ情報紙



- くらしの知恵袋…らくらくお掃除—バスルーム—
- 仏事のころえ…縁日
- 和・漢・洋…「ことわざ辞典」
- 仏事の豆知識…仏教と食
- 生活の中の仏教語…正念場

2021年 秋彼岸号

— 明治22年創業の信用と実績 —

墓石・採石・生コン・建設業・不動産取引業



森近石材有限公司

〒720-0311

福山市沼隈町草深2564-2

TEL (084) 987-2133(代)

TEL (084) 987-2934(夜)

TEL (084) 987-2820(展示場)

FAX (084) 987-2714

歳時記

案山子(かかし)

今ではあまり見られなくなりましたが、さも人間がそこにいると見せかけて、鳥や獣を追い払った「案山子」は、秋の田畑の風物詩でした。

「かかし」は「かがし」？

一般に、「かかし」は「案山子」と書きますが、どうしてこのような漢字を当てるようになったのでしょうか。昔、中国の案山という山に屈強な人が住んでいたことから、その人にあやかって、田畑の強い「番人」であるべき「かかし」の当て字として「案山子」が用いられるようになった。など、諸説あるようですが、いずれも定かではないといえます。

一方「かかし」の語源については、く鳥獣の毛や肉を焼いて吊るし、その悪臭を「嗅がし」て、田畑に害を及ぼす鳥や獣を追い払ったことに由来する」というのが定説のようです。したがって、「かかし」ではなく、「かがし」と、濁って発音するのが正しいという説もあるそうです。

また、地方によって「そめ」「しめ」「おどし」「そうず」など、さまざまな呼び名もあります。

“神さま”だった案山子

ところで、案山子の古名「そほど(曾富騰)」の初出は『古事記』だそうです。その中で「そほど」とは、「足は歩めねども世のことを悉く知る」神さま・久延毘古のことだとされ、古代における案山子は、鳥獣の背後にある悪霊を追い払う農神のような存在であったのかもしれない。因みに、案山子をご神体とした祭りや行事は、いまも各地方で継承されて



います。

また、平安時代前期に編まれた『古今和歌集』には、詠み人知らずの次のような歌も収められています。〈あしひきの山田のそぼづおのれさへ我をほしてふうれはしきこと〉この歌にある「そぼづ」も案山子のことです。〈山田の案山子のようなあなたまでもが、私をお嫁にほしいなんて、なんと嘆かわしいことでしょう〉といった歌意になり、この歌からは「農神」というよりも、現在の私たちのイメージに近い案山子の姿が浮かんでくるのではないのでしょうか。

「案山子」を詠む

次の2句は一茶の俳句です。

・案山子にもうしろ向かれし 栖かな

・名月にけるりと立しかがし哉

また、夏目漱石も次のような愉快な句を詠んでいます。

・其許は案山子に似たる和尚かな

・某は案山子にて候雀どの

らくらくお掃除

—バスルーム—

バスルームの汚れは主に湯アカと石鹸カスですが、湿気がこもる場所ですからカビも発生します。バスタブに浸って気持ちよく疲れを癒すためにも、目につく周囲の汚れは先手を打って“撃退”しておきましょう。



これは便利

「〇〇用」といった個別の道具をわざわざ用意しなくても、手持ちの品を一工夫するだけで、便利なお掃除道具に早変わり。「窓まわり」のお掃除でもご紹介した、使い古しの「ナイロンタオル」は、バスルームでも大活躍。フルに活用すれば、隅々までピッカピカになります。

①ワイパーにセットして

床掃除などに使うワイパーは、セットするアイテム次第で、さまざまな場所に活用できます。ここでは、ボディ洗いとして使い古したナイロンタオルを、半分の長さにカットして使います。

②割り箸に巻き付けて

10cm程の長さにカットした使い古しのナイロンタオルを常備しておき、必要時に割り箸の先に巻いて輪ゴムで留めて使います。

お掃除しましょう

では、①、②を使って、実際にお掃除をしてみましょう。

《バスタブ》

できれば、汚れがゆるんで落ちやすい毎回の風呂上りに、①でこすり洗いをします。こうすれば、洗剤を使ってのお掃除は週に1程度ですみます（柄があることで、楽な姿勢で掃除ができ、屈んで洗う億劫さからも解放されます）。

また、カビの発生を防止するため、仕上げには、ワイパーに「古タオル」をセットして乾拭きし、ついでに柄を伸ばして天井や壁の上部の水分も拭



き取っておきます。

《床》

壁との境目などには②が重宝します。とくに、皮脂汚れなどは洗面場の四隅に溜まりやすいので、浴室用洗剤をスプレーし、②でこすり落とします。隅の汚れは盲点になりやすいので、週に1～2度、重点的にやりたいものです。

《蛇口など》

水アカなどでくもりがちな蛇口や、シャワーの金属製ホースなどは、ボディシャンプーを泡立てたナイロンタオルでキュキュッとこすります。

ご存知ですか？

■シャワーヘッドには酢を使う

湯アカのついたシャワーヘッドは、1～2%の酢を加えたお湯に1～2時間浸け置きし、ブラシで軽くこすります。

■ユニットバスの「エプロン」

ユニットバスの浴槽の側面カバーを「エプロン」といい、取り外しができるようになっています。

洗い場や浴槽はいつもしっかり掃除しているのに、なぜかカビ臭さが抜けないといったことはありませんか。その場合、エプロンで隠れた浴槽の下や隙間などに、汚

れやカビが溜まっていることがありますので、エプロンを外して臭いのもとを取り除きます。

注意：「エプロン」は、ユニットバスの機種によって形状も外し方も異なりますので、取り外す場合は、施工店やメーカーに必ずお問い合わせください。



仏事のころえ

縁日

一般に「縁日」といえば、子ども頃の楽しい思い出が甦り、お寺や神社の境内や参道に並ぶ、さまざまな屋台や露店を思い浮かべる方も多いかもしれません。しかし、「縁日」とは文字通り“有縁（うえん）の日”を意味し、特定の神仏にご縁のある日のことで、その日に参詣すると特別な功德があるといわれます。

また、昔から縁日には、参詣人相手に市（いち）が開かれていたことから、現在の屋台なども、その流れをくむものといえるでしょう。



縁日の起源

中国・南宋時代の禅僧、虚堂智恵の語録『虚堂録（きどうろく）』によれば、中国禅宗の第5祖・弘忍（臨済宗では「ぐにん」と読みます）がおられた五祖山の禪師は、1ヵ月を30日として「今日はこの仏さま、明日はあの仏さま」というように、毎日一尊ずつ供養したとされ、これを「三十日

秘仏」と称したといわれます。そして、このことが伝えられた日本では、それぞれの仏さまや神さまに由来のある特別な日を「縁日」とし、毎月その日にお参りをすれば神仏とご縁が結ばれ、よりご利益があると考えられるようになったのです。

縁日とお祭り

ところで、縁日とお祭りの違いは何かのでしょうか。たとえば、もうすぐ「〇〇のお祭りだ」といえば、子どもたちは綿菓子や金魚すくいなどを思い浮かべて「縁日が楽しみだなあ」と心待ちにしたりします。つまり、子どもたちにとっての縁日とは“お祭りでいろいろな屋台が並ぶ楽しい日”ということになるのかもしれませんが。

しかし、前述のように、本来「縁日」とは、個々の仏さまや神さまにご縁のある日のことで、私たちもその神仏からご縁をいただくために、寺社にお参りをします。ですから、縁日だからといって寺社の境内や参道に屋台

や露店が並ぶとは限りません。一方、お祭りは本来、家内安全や厄除け、豊作などを願うと同時に、ご先祖さまや縁の神仏に感謝を捧げるためのものです。加えて、季節ならではの恒例の催しなどもお祭りと呼ぶようになっており、多くは屋台や夜店などが出て、人びとが楽しむ日ともなっています。

《縁日のご紹介》

縁日が月に一度だけの神仏もありますが、月のうちに縁日が複数回ある神仏もあります。以下に、そのうちのいくつかをご紹介します。

毎月	ご縁のある仏さまと神さま	16日	閻魔王
1日	妙見菩薩	17日	千手観音菩薩
2日	石清水八幡大明神	18日	観世音菩薩
3日	多宝如来	19日	馬頭観音
4日	阿闍如来	20日	十一面観音菩薩
5日	弥勒菩薩	21日	弘法大師
6日	鹿島大明神	22日	稲荷大明神
7日	北野大明神	23日	諏訪大明神
8日	鬼子母神	24日	地藏菩薩
9日	貴船大明神	25日	文殊菩薩、法然上人
10日	金毘羅	26日	薬上菩薩
11日	歓喜仏	27日	盧遮那仏
12日	薬師如来	28日	大日如来、不動明王
13日	日蓮上人	29日	薬王菩薩
14日	普賢菩薩	30日	釈迦如来
15日	阿弥陀如来	31日	多聞天、持国天